



静岡新聞で学ぼう



Newspaper in Education

焼津市中島のホテル経営尾白利夫さん(74)が育てているカブトムシの幼虫から白色のキノコが生えているのが見つかった。昆虫に寄生するキノコ「冬虫夏草」では?と、珍しい様相に家族も驚いている。

「冬虫夏草では?」。子供たちも興味深げに眺めている。焼津市中島



焼津さんの冬虫夏草か?

冬虫夏草の一部は中国で漢方生薬として重宝されている。磐田市竜洋昆虫自然観察公園の担当者「幼虫を育てる腐葉土にキノコの菌が混じっていることがある。カブトムシの幼虫から冬虫夏草ができることは珍しいが、種類の一つの可能性もある」と話した。

カブトムシ幼虫からキノコ

① カブトムシの一生を並べ替えましょう。

A 腐葉土や柔らかな

朽木を食べて成長し、2

回脱皮を繰り返す。

B 6月～7月の夜に飛

び立つ。寿命は1～3ヵ月。クヌギ、コナラなど

の樹液をなめる。

C 蛹室を作り、そこで3

回目の脱皮をする。オス

は頭部に角ができる。

2013年6月5日朝刊 中部版

D 最初は直径2、3ミリの楕円形。2週間くらいで孵化する。

卵 → 幼虫 → さなぎ → 成虫
〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕

年 組 名前

(小学校高学年 理科)